

ふーぬ風

発行 〒901-1115
沖縄県南部農業改良普及センター
TEL : (098) 889-3515
FAX : (098) 835-6010

甘くておいしいトマトをつくり続けてます!

りよくはくじゆゆうこうしょう

緑白綬有功章 を受章!

新垣光勇氏(南城市:施設トマト)



平成 28 年度農事功績者表彰事業において、本県から農事功労者として推薦した新垣光勇氏が「緑白綬有功章」を受章しました。

新垣氏の功績を称え、受章までの主な活動(あゆみ)をご紹介します。昭和 57 年に農業後継者として経営を開始、昭和 59 年に事業導入による施設整備を行い、サヤインゲンにおいては当時の J A 組合長より最多出荷賞を受賞し、野菜生産組合を盛り上げ組織を牽引しました。

昭和 63 年頃から平成 5 年頃は、連作障害等の課題が出てきたため土づくりにも力を入れ、太陽熱消毒や有機質肥料、有用微生物を活用した独自の有機栽培に取り組み模索しました。また、生産組織の運営にあたり、経営記帳学習会の実施や収穫運搬車の導入など作業改善活動等に取り組み、平成 5 年度には、沖縄県指導農業士に認定されました。

平成 6 年からは、市場性が高く味へのこだわりが求められる「安全・安心で甘いトマトづくり」を始めました。独自の有機栽培も定着し、最盛期は 10a 当たり 10t を出荷、規模拡大、資産形成を果たし、儲かる農業を実践しました。高齢となった現在は 20a 規模で、夫婦 2 人で生涯現役を貫き、ホテルや量販店等に販売しています。また、平成 26 年に開業された息子さんが経営するレストランでもトマトが活用され、人気のメニューとなっています。

新垣氏は、地域の区長や各種審議員なども担い地域振興にも貢献され、平成 21 年に沖縄県名誉指導農業士となり、現在では農業青年の相談を受けたり、担い手育成にも尽力されています。

家族に支えられ、多くの農業者と交流を深めながら、独自の経営スタイルを確立し、農業振興、農業担い手の育成に尽力され、現在でも現役として活躍していることが認められ受章となりました。新垣光勇さん、誠におめでとうございます! これからも生涯現役! ご期待申しあげます。

かんしょを出品し産地 P R ! ~おきなわ花と食のフェスティバル 2017~

平成 29 年 2 月 4 日~5 日に奥武山公園で開催された野菜品評会において、八重瀬町の安里美津男氏が見事! 銀賞を受賞しました。

当普及センターでは、八重瀬町において地域農業振興総合指導事業を導入し、かんしょ産地の維持・発展に向けた支援を行っております。生産量が減少するこの時期でしたが、産地を P R する絶好の機会と奮闘し、生産者 4 名が出品しました。受賞した安里さんは、「かんしょ産地振興のため今後も頑張ります」と意気込んでいました。安里さんおめでとうございます!



(普及企画班 根路銘 利加)

おきなわ花と食のフェスティバル 2017

～花き・野菜・果樹品評会～

平成29年2月4日(土)～5日(日)に奥武山公園にて「おきなわ花と食のフェスティバル2017」が開催されました。園芸品評会では、南部地区からも多くの花き・野菜・果樹が出品され、特別賞計12賞が受賞されました!!

受賞された皆さん、本当におめでとうございます。

| 第32回花き品評会受賞者 | 受賞者 | 品目名 | 市町村 |
|---------------|----------|----------|------|
| 農林水産大臣賞 | 神谷 喬 | 小ぎく | 糸満市 |
| 内閣府沖縄総合事務局長賞 | 喜納賢 | 小ぎく | 八重瀬町 |
| 日本花き生産協会会長賞 | 島袋 幸光 | ストリチア | 南風原町 |
| 九州花き卸売市場連合会長賞 | 仲道 千春 | トルコギキョウ | 八重瀬町 |
| 金賞 | 神聖賢 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 宮平 翼 | 小ぎく | 南城市 |
| | 糸洲花卉生産組合 | 小ぎく | 糸満市 |
| 銀賞 | 金城 親 | ストリチア | 南風原町 |
| | 高良 正樹 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 金城 裕紀 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 金城 兼二 | 小ぎく | 八重瀬町 |
| | 新垣 昌昭 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 神谷 達也 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 新屋 隆行 | 小ぎく | 八重瀬町 |
| 銅賞 | 金城 政則 | トルコギキョウ | 那覇市 |
| | 興座 健市 | ストリチア | 南風原町 |
| | 玉那覇 栄 | グリーンアラレア | 南城市 |
| | 新垣 進 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 新垣 大策 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 大城 節子 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 照屋 良幸 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 新垣 秀昭 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 山城 弘美 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 島袋 幸憲 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 玉城 翠 | 小ぎく | 糸満市 |
| | 桃宇 輝 | 小ぎく | 八重瀬町 |
| | 前森 栄太郎 | 小ぎく | 八重瀬町 |
| | 前森 栄徳 | 小ぎく | 八重瀬町 |
| | 新屋 徹 | 小ぎく | 八重瀬町 |
| 新屋 政信 | 小ぎく | 八重瀬町 | |
| 島袋 幸光 | ストリチア | 南風原町 | |
| 高敏 直之 | ダリア | 那覇市 | |
| 玉那覇 栄 | ゴソノクダ | 南城市 | |



神谷 喬氏

農林水産大臣賞受賞!



玉代勢 兼安氏



金城 重光氏



島袋 幸光氏

| 第27回野菜品評会受賞者 | 受賞者 | 品目名 | 市町村 |
|------------------|---------|--------|------|
| 農林水産大臣賞 | 玉代勢 兼安 | さやいんげん | 南城市 |
| 農林水産省生産局長賞 | 金城 重光 | かぼちゃ | 南風原町 |
| 沖縄県議会議長賞 | 諸見里 安雄 | さやいんげん | 糸満市 |
| 沖縄県農業協同組合代表理事理事賞 | 佐久川 正郎 | キャベツ | 那覇市 |
| 沖縄協同青果株式会社社長賞 | 渡平 浩司 | きゅうり | 糸満市 |
| 沖縄県農業共済組合組合長理事賞 | 東江 秀彦 | 大型ピーマン | 八重瀬町 |
| 沖縄県青果物流通協議会会長賞 | 金城 隆二 | ミニトマト | 豊見城市 |
| 銀賞 | 上原 登一 | ミニトマト | 豊見城市 |
| | 喜納 盛男 | かぼちゃ | 南大東村 |
| | 新垣 次夫 | なす | 那覇市 |
| | 城田 由美子 | 大型ピーマン | 八重瀬町 |
| | 城田 大地 | 中型ピーマン | 八重瀬町 |
| | 大城 善徳 | さやいんげん | 南城市 |
| | 平仲 健 | さやいんげん | 八重瀬町 |
| | 前津 成記 | ちんげんさい | 南風原町 |
| | 安里 美津男 | かんしょ | 八重瀬町 |
| | 畠 境名 武雄 | キャベツ | 那覇市 |
| 銅賞 | 東恩納 盛繁 | ゴーヤー | 南城市 |
| | 長瀬 純 | ミニトマト | 豊見城市 |
| | 神里 靖 | へちま | 南風原町 |
| | 新垣 真人 | かぼちゃ | 南風原町 |
| | 伊藤 辰夫 | 大型ピーマン | 八重瀬町 |
| | 吉田 永進 | 中型ピーマン | 南城市 |
| | 高敏 太次 | さやいんげん | 南城市 |
| | 知念 保 | さやいんげん | 八重瀬町 |
| 優良賞 | 金城 敏 | レタス | 糸満市 |
| | 富間 康田 | セルリー | 豊見城市 |
| 具志堅 源保 | クソソ | 南城市 | |

| 第13回果樹品評会受賞者 | 受賞者 | 品目名 | 市町村 |
|----------------|--------|-----------|------|
| 沖縄県農業協同組合代表理事賞 | 小池 美智代 | パッションフルーツ | 糸満市 |
| 優良賞 | 金城 英順 | パッションフルーツ | 南風原町 |
| | 赤嶺 之昭 | スターフルーツ | 南風原町 |
| | 中村 京睦 | アテモヤ | 南風原町 |



小池 美智代氏

※冬春期に発生する花き類の病害虫※ ～発生を見極めて初期防除を!～

おきなわ花と食のフェスティバルや沖縄国際洋蘭博覧会で賞を受賞された花き・観葉生産者の皆様本当におめでとうございます。今回はキク類やトルコギキョウ、洋ラン類に発生する病原菌の発生生態と病害の拡大予防対策、現場で見られる病害虫について紹介します。

①白さび病【かびの病害：Puccinia horiana】キク類

〔発生生態と防除方法〕

- 葉やがく、茎、花弁に発生する。
- 低温降雨が続くと発生することがある。発病初期は葉で1mm程度の乳白色の小斑点を生じる。また、品種により発病しやすいものがある。
- ほ場の排水改善や株の整枝をして通風を良くする。



乳白色斑点（葉表）

葉裏の冬孢子堆

②菌核病【かびの病害：Sclerotinia sclerotiorum】キク類

〔発生生態と防除方法〕

- 地際部の茎や茎の途中に発生する。
- 発病適温は20℃前後で曇天(どんてん)多湿の環境が続くと発生が多い。
- 発病株は菌核形成以前に抜き取り、早めに処分する。



茎の症状



茎内部の菌核

③灰色かび病【かびの病害：Botrytis cinerea】洋ラン類、トルコギキョウ

〔発生生態と防除方法〕

- 洋ラン類においては主に花に発生するが、トルコギキョウでは地際部に発生し、立枯れ症状を引き起こす。
- 低温多湿条件下で大量の分生子を形成するため、発生を確認した場合は他の株に被害を広げないように早めに処分する。



花弁の病徴



立枯れ症状（赤丸）

※最近現場でみられる注意すべき病害虫※

④ウスモンミドリカスミカメ（キク類）

特徴→芯止まり症状を生じる。

⑤タバココナジラミ（トルコギキョウ）

特徴→葉の萎縮及びすす症状を生じる。

⑥斑点細菌病（キク類）

特徴→葉のふちが黒色症状を示す。

*④～⑥も発生を確認次第、早めに防除しましょう!



⑤



⑥

アグリチャレンジ講座で農産加工の知識習得を!

今年度6月～12月にかけて、農産加工志向農家及び新規起業者を対象に、アグリチャレンジ講座を下記のとおり開催しました。講座を通して、加工起業に必要な情報収集や、起業者交流ができる場づくりを目指しています。次年度も開催予定なので、栽培した農産物を加工したい農業者は、ぜひ、当普及センターまでご連絡下さい。



▲成果報告会での受講生の試作品

| | 実施内容 |
|-----|----------------------------------------------|
| 第1回 | 講話「6次化ってなあに？」 ワークショップ「商品化事業計画ビジョンについて」 |
| 第2回 | 講話「農産加工の製造工程管理」 ワークショップ「商品の製造工程表をつくろう」 |
| 第3回 | 加工施設視察「旬みどり食品」 ～食品製造に必要な衛生管理～ |
| 第4回 | 講話「農産加工機器の検討」 ～各受講生にあった加工機器の紹介と実演～ |
| 第5回 | 現地検討会「のはらファーム」 「大城野菜生産農園加工所」 成果報告会及び試食 |

「なんぶのはるみち農業・農村体験」受入れ先の紹介

南部地区加工体験農家組織「みなみの味グリーン・ツーリズム」では、農業や農村のくらしを体験できる「なんぶのはるみち農業・農村体験」を開催しています。

旬の野菜等の収穫シーズンにあわせた、五感で楽しむ体験メニューをいくつかご紹介します。

- Aコース** フレッシュハーブ体験
(岸本ファーム／糸満市)
- Bコース** 野菜とフルーツでつくる酵素づくり
(しらかわファーム／八重瀬町)
- Cコース** ドラム缶でハーブパンづくり
(ハーブの里みどり農園／南城市)
- Dコース** 天然醸造麴のみそと塩麴づくり
(菊みそ加工所夢工房／八重瀬町)
- Eコース** 伝えたい農家の味料理体験
(みなみの味グリーン・ツーリズム)

また、同組織では、受入れ農家の資質向上を目的に、モニター研修を実施しています。

受入れ前に、行程内容の点検や料理の試食やPR方法について会員間で評価しあい、良い点・改善点を検討しています。

これから体験受入れをしてみたいという方は、みなみの味グリーン・ツーリズムまでご連絡ください。



▲受入れ前のモニターの様子

豊作の今がチャンス

株出栽培のメリットを最大限に活かしましょう！

さとうきびの株出栽培は耕起や植付を必要としない分、新植に比べて経費や労力が少なく済むため、収益性の高い作型と言われています。株出の収量を向上させることは、その年の収入が増えるだけでなく、より長く株出栽培を続けることに繋がり、収益がアップします。

より良い株出栽培のために実施する株出管理には幾つかのメニューがあり、いずれも早期に行う事で大きな効果を発揮します。以下がその代表的な作業です。現在行っている管理にもう一手間、試してみたいはいかがでしょうか。

手刈り収穫の場合

株元のそうじ

葉ガラ等を除去し、株元に日光が当たるようにします。



施肥

早めに施肥し、体力を使い切って疲れているさとうきびの早期回復を図ります。

粒剤散布

薬剤を株元に伏せ込んでさとうきびに吸収させ、侵入したメイチュウ類を防除します。

機械収穫の場合

株出複合管理機

一度の作業で株揃え、施肥、粒剤散布等を同時に行います。

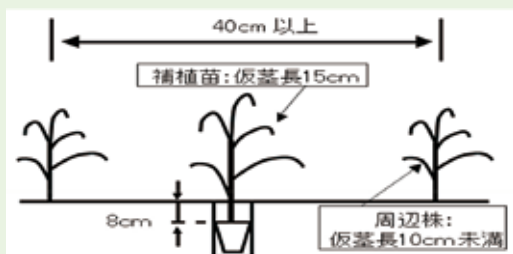


心土破碎

サブソイラ等で、土中の硬盤層を破壊します。根が地中深くまで伸びやすくなります。



手刈り収穫・機械収穫 共通



補植

欠株があれば補植します。欠株の判断基準は、40cm以上空いているのを目安とします。補植苗が周辺株に負けないよう、周辺株の草丈が10cm以下の時に15cm以上の苗を補植するようにします(育苗した苗を用いる場合)。



除草剤散布

土中の雑草種子が発芽する前に、土壌処理剤を散布して雑草の発生を抑えます。土壌処理剤の効果は1~2ヶ月続くので、その間にさとうきびは雑草に邪魔されず十分に生育する事ができます。

H29年！今年こそ、青色申告かな。と思っている方へ

◆青色申告できる人

- ①事業（農業）所得、不動産所得、山林所得のいずれかの所得がある人
- ②一定の帳簿を備え、毎日の取引を正しく記帳。複式簿記で記帳すればさらに節税効果が大きい！
- ③所轄税務署（南部地域は那覇税務署または北那覇税務署）に「青色申告承認申請書」を提出し、承認を受けた人。



◆申請書の提出期限

- ①これまでに白色申告をしていた人：H29年3月15日
- ②H29年1月1日～16日に就農した人：H29年3月15日
- ③H29年1月16日以降に就農した人：2ヶ月以内

「収入保険制度」
加入予定の方も！



「あらためて、青色申告と白色申告、どう違う？」

◆◆ 青色申告 ◆◆

- 帳簿必須
 - 税務署への申請が必要
 - 税制上の特典がある（以下、主なもの）
1. 青色申告特別控除：所得金額から65万円または10万円を控除できます。（65万円の控除の場合は複式簿記で損益計算書・貸借対照表を作成し期限内に申告が必要）
 2. 赤字の繰り越し：純損失の繰越控除。赤字を翌年以降3年間にわたり各年分の黒字所得より控除できます。
 3. 青色事業専従者給与：通常、経費とは認められない家族への給与を適正額の範囲であれば全額経費にできます（事前に申請が必要*）。
 4. 減価償却費の特例：30万円未満の固定資産は合計300万円まで購入時に全額を経費に算入できます。

◇◇ 白色申告 ◇◇

- 帳簿必須（H26年より義務化）
 - 税務署または市町村へ申請
 - 税制上の特典はない
1. 申告控除：なし
 2. 赤字の繰り越し：なし
ただし災害による損失、変動所得のみ3年繰り越しできます。
 3. 事業専従者控除
給与の支払の有無にかかわらず50万円（配偶者は86万円）を控除できます。
 4. 減価償却費の特例：なし

*補足 青色事業専従者給与について・・・「青色事業専従者給与に関する届出書」の提出が必要です。今年から開始予定であればH29年3月15日まで、所轄税務署へ申請しましょう。また、「源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請兼納期の特例適用者に係る納期限の特例に関する届出書」をあわせて提出するとよいでしょう。

「毎日の農作業が忙しくて記帳はつい後で」「複式簿記は難しそうだし、時間がない」「そのうちやろうと思ってる」等、よく聞きます。毎年、確定申告や事業関係報告前に大急ぎで領収書を探し、電卓で計算する。こんな状態で大丈夫ですか？本当に儲かっているのわかりますか？1年間の収支だけでなく、自分の資産や負債状況もしっかり数値で把握して、みなさんの経営をよりよいものにしましょう。自分1人で悩まず、家族と役割分担したり、JA記帳代行サービスや那覇青色申告会、税理士等を活用しましょう。



（普及企画班 安藤 さやか）

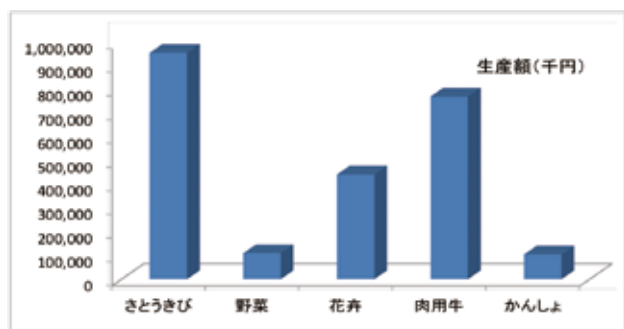
離島情報 久米島



1 久米島町の農業概要

さとうきびを中心に、花き（キク栽培）、肉用牛（繁殖）、野菜、かんしょ、果樹が生産されており、品目の多様化と他作目との複合経営が進んでいます。近年では、アリモドキゾウムシの根絶によりかんしょ栽培農家・栽培規模も増加傾向にあります。

表1. 農業生産額の比較



(資料：「久米島町H28年度産業の概況」より)

*かんしょは、加工用120円/kg、青果用180円/kgで生産額算出

基幹作物であるさとうきびのH28/29年期の生産見込みは、気象条件にも恵まれ、昨年の生産量よりも約1万トン上回る54,000tを見込んでいます。しかしながら、台風18号の影響で折損、葉片裂傷被害も見受けられ、品質面で低糖度のは場も見受けられます。H28年7月ごろの夏植では鞘頭部折損もあり、台風通過後、切り戻して生育状況を確認しているところです。なお、製糖期間は1月21日～4月初旬までを予定しています。

表2. H28/29年製糖見込み

| | 面積(ha) | 単収(kg) | 生産量(t) |
|-----|--------|--------|--------|
| 夏植え | 190 | 8,428 | 16,013 |
| 春植え | 110 | 5,237 | 5,761 |
| 株出 | 600 | 5,371 | 32,226 |
| 合計 | 900 | 6,000 | 54,000 |

(資料：久米島製糖株式会社より)



収穫風景(H28年度ハーベスタ導入)



台風通過後、夏植切り戻後

2 かんしょ生産振興取組み支援

(1) 優良種苗の導入による収量及び品質向上

久米島町では2013年に、アリモドキゾウムシの根絶により、島内へのかんしょやウンチエーなどの持込が植物防疫法と沖縄県特殊病害虫防除条例で厳しく規制されています。そのような中、「高品質かんしょ系統選抜技術体系確立事業」の現地適応試験として、農業研究センターで培養された茎頂培養苗の導入、栽培を行い、自家採苗との比較栽培を行っています。久米島町で栽培されている主な品種として、加工用の「ちゅら恋紅」、青果用として「沖夢紫」の培養苗の導入により優良な苗がスムーズに増殖・普及できるよう、ハウス内での培養苗の育苗に取り組んでいます。



写真：培養苗の馴化作業



写真：生育状況(1月)

(2) 「いもの日」関連行事の開催について

久米島町は、平成27年3月に、かんしょの拠点産地として認定され、かんしょの安定生産に期待されています。平成27年度の栽培面積は、約65ha、生産量は1,032tと年々増加しております。昨年、11月16日には、「いもの日」のイベントが久米島町にて行われ、各産地ごとの展示紹介や紅いもの試食はじめ、「ちゅら恋紅」の無料配布が行われました。また、講演会では、久米島産「久米島町のかんしょ生産の取組事例」や「アリモドキゾウムシの根絶後の取組事例」が報告されました。



試食会



講演会

南部の野菜産地を支える頼しい農業青年を紹介します。

南風原町でニラ、サニーレタスを栽培している神里智幸さん、就農12年目、100a(3,000坪)を本人、両親、雇用者(2名)で栽培管理・出荷をしています。ニラの周年栽培、冬期はサニーレタスを栽培。減農薬栽培にも取り組み、県内スーパーへの出荷が主です。神里さんは、元沖縄県農業青年クラブ会長として農業青年の交流等意欲的に取り組んできましたが、「まさか自分が農業に就くとは考えていなかった」と言う神里さん。農業でも休みはしっかり取るのが理念の一つ、子育てや家庭を大事にしているお父さんでもあります。



南城市の新規就農2年目、友利克也さん、133a(4,000坪)の畑でオクラとインゲンを本人、奥さん、雇用者(2名)等で栽培管理・出荷をしています。3年前に会社勤めから一念発起し、農業大学校及び農家での研修を経て、就農までたどり着きました。現在も、農地を広げながら、意欲的な農業を進めており、将来は法人化を目指して日々取り組んでいます。本人の感想として、就農して自営業の大変さがわかったこと、自分一人頑張るのではなく、まわりの支えがあってここまで来られたと話しています。



(普及企画班 儀間 靖)

南部と北部に生産の拠点を持ち、県産マンゴーのリレー出荷を目指す！

～サンプルーツ糸満代表：山城栄徳さん(糸満市)～

山城栄徳氏は糸満市に50a、50km以上離れた宜野座村に2カ所90aの計3カ所140aの施設でマンゴーを生産しています。

マンゴーを始める前は他産業に従事していましたが、「仕事の将来性と家族のこと」を考え、H18年宜野座村でハウスを借受けることができたことから、マンゴー生産を開始しました。当初は栽培技術もわからず、近隣のマンゴー農家や普及センターから栽培のコツや経営について情報を得、実践してきました。‘何をするにも妥協せず、とことん追求する性格’から、次第に栽培技術の成果が収量や品質に現れ、生産にも自信が持てたことから、地元糸満市に補助事業を活用した施設を増設しました。糸満市と宜野座村の南北に離れた農園を経営することで、①地理的条件(気温差)を活かし、収穫時期(6～8月)の調整ができること、②管理作業が集中しないよう労働の配分が計画的に行えること等メリットを活かし、本格生産を開始しました。一方、

販売面では地域の直売店やネット販売等からスタート、出荷量が増えた頃から県内外の市場向けにも販売を展開しています。

マンゴーを始めて6年目、第4回県マンゴーコンテストで初の最優秀賞を受賞(H23年)、これまでに4回の特別賞を受賞する等、栽培技術の高さが評価されました。現在、後継者2人に糸満農場を任せ、山城氏は宜野座農場と6次産業化の導入等経営多角化に取り組んでいます。

平成29年2月、これまでの実績が評価され、第18回全国果樹経営コンクールで入賞し、マンゴー経営者の一人として、今後とも期待されます。



【後継者(裕樹さん)と山城栄徳氏】

(園芸技術普及班 大城 和久)